法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-09-01

能楽研究所彙報(二〇一三年四月～二〇一四年三月)

野上記念法政大学 能楽研究所

(出版者 / Publisher)

法政大学能楽研究所 / The Nogami Memorial Noh Theatre Research Institute of Hosei University

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

能楽研究 / 能楽研究

(巻 / Volume)

39

(開始ページ / Start Page)

93

(終了ページ / End Page)

114

(発行年 / Year)

2015-03-31

能楽研究所彙報(二〇一三年四月～二〇一四年三月)

〔紀要〕『能楽研究』第三十八号の発行

2014年7月31日付で、研究所紀要『能楽研究』第38号を発行した。A5版234頁。内容は次の通り。

玉屋謡本の研究(一)

—玉屋謡本諸本の関係をめぐって

伊海 孝充

『仮面譜』の成立

枕ノ段の型の研究

宮本 圭造

—扇を投げる・衣を被く—

『触流し御能組』題記と注記二覧

中司由起子

研究展望(平成22年)

表 章

江口 文恵

高橋 悠介

表 きよし

小林 健二

石井 倫子

中司由起子

伊海 孝充

竹内 晶子

宮本 圭造

能楽研究所彙報(平成24年度)

心から心へ、翻訳で伝わる笑い

ヒール・オンジェイ

—チエコにおける狂言の現状、過去14年をめぐって—

〔第三十五回観世寿夫記念法政大学能楽賞〕

第三十五回観世寿夫記念法政大学能楽賞の受賞者に、

2012年12月5日(木)に開かれた選考委員会(委員は、松本 雍・みなもとごろう・西野春雄・観世鎮之丞・福田好朗(法政大学国際学術支援本部担当常務理事)・徳安彰(法政大学法人本部担当常務理事)・山中玲子・宮本圭造)の推薦に基づいて國川純氏と高桑いづみ氏の2名が選ばれ、12月7日付で増田壽男総長名義の通知を各方面に発送した。贈呈理由と受賞者の経歴は次の通りである。

〔受賞者〕 國川 純(くにがわ じゅん)氏

〔贈呈理由〕 安福春雄氏の薫陶を受けた氏は、師匠譲りの氣迫あふれる芸を基本としつつ、堅実な技に裏打ちされた緩急自在の演奏によって、独自の氣品ある芸風を確立している。曲趣に相應しい掛け声と調子には、調和のとれた安定感があ

能界展望(平成23年)

り、囃子方の要として数々の舞台を成功に導いている。近年は特に《檜垣》(井筒)などで優れた成果を見せ、その芸の円熟を強く印象づけた。

〔主な経歴〕 高安流大鼓方。1948(昭和23)年7月27日、東京に生まれる。小学4年の頃から謡曲愛好家の叔父に観世流の謡を習い、64年より中森晶三に師事して謡と仕舞の習得に努める。翌65年に故安福春雄に入門。66年、舞囃子(桜川)にて初舞台。68年に《熊坂》(シテ武田宗和)で初能を勤める。以後、大阪能楽鑑賞会での《錦木》(シテ観世寿夫、繭の会での「野守」(シテ浅見真州、地頭観世寿夫)など、観世寿夫とも多くの舞台で共演。71年《狸々乱》、74年《翁》、78年《道成寺》、87年《卒都婆小町》、98年《娘捨》、2006年《鶴鷄小町》、09年《檜垣》を抜く。72年の喜多流アメリカ公演、90年の鎮仙会イタリア公演、2012年の能楽協会アルジェリア・フランス公演、東京芸術大学イギリス公演など、海外公演にも多数参加。新作能《晶子みだれ髪》(光の素足)の初演、《常陸帯》の復曲初演など、新作能・復曲能への出演も多い。最近は、能楽界の若い人達が結成した東日本大震災支援能「息吹の会」に実行委員補佐として加わり、義援能を積極的に行っている。重要無形文化財総合指定保持者。日本能楽协会会员。公益社団法人日本能楽協会理事。東京芸術大学邦楽科非常勤講師。国立能楽堂研修講師。

〔受賞者〕 高桑 いづみ(たかくわ いづみ)氏

〔贈呈理由〕 多年にわたって能楽の音楽的研究を重ねてきた氏は、謡や囃子の歴史の変遷を音楽面から明らかにする様々な業績によって、能楽研究に新境地を切り開いてきた。近年は鼓胴・能管といった古楽器研究でも新たな成果を挙げるなど、あらゆる分野で能楽の音楽的研究を牽引する活動を見せている。その成果は、世阿弥時代の謡物の復元などの形で、実演の場とも深くつながっており、研究の社会への還元にも大きな成果を挙げている。

〔主な経歴〕 東京文化財研究所無形文化遺産部無形文化財研究室長。1956(昭和31)年1月9日生まれ。専攻テーマは能を中心とした日本音楽史。1978年東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。1982年東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。東京芸術大学在学中に横道萬里雄氏の指導を受ける。東京国立文化財研究所芸能部調査員、国立音楽大学・東京音楽大学非常勤講師を経て、1992年東京国立文化財研究所芸能部研究員。2002年に早稲田大学大学院文学研究科より博士号(文学)授与。2003年に著書『能の囃子と演出』(音楽之友社)を出版。同年、東洋音楽学会第21回田邊尚雄賞受賞。2002年に早稲田大学・横浜能楽堂共催「秀吉の見た卒都婆小町」で桃山時代の謡の復元を手がけるほか、2013年には能楽学会大会で世阿弥作《四季祝言》(敷島の復元に携わるなど、実践に基づきながら幅広く能の音楽を研究している。近年は鼓胴や能管などの楽器の調査にも精力的に取り組む。NHK「日本の伝統芸能入門」、FM「能の音

楽』への出演のほか、『岩波講座 能・狂言 能楽図説』(1992年 岩波書店)『日本の音の文化』(小島美子監修 1994年 第一書房)『日本の伝統芸能講座 音楽』(企画・編集 国立劇場 2008年 淡交社)などの編著書がある。

なお贈呈式は、次に記す催花賞とあわせて、2014年1月17日(金)午後6時半より、グランドプリンスホテル新高輪で開かれた。受賞者をはじめ、選考委員、法政大学関係者、能楽関係者ら79名の出席のもとに、増田壽男総長から賞状と賞金(各30万円)が贈られ、レセプションに移って歓談の後、午後8時半過ぎに散会した。

〔第二十四回催花賞〕

〔受賞者〕 喜多流大島能楽堂(きたりゅうおおしまのうがく どう)

〔贈呈理由〕 大正3年に建設された大島能舞台を前身に持つ喜多流大島能楽堂は、通算235回に及ぶ定期能を行い、質の高い能・狂言の催しを長年にわたって地域に提供してきた。地元の伝承に取材した新作能や、英語能の制作など、能楽の新たな可能性を探る試みに意欲的に取り組むとともに、小学生を対象とした能楽体験学習を長年にわたって行うなど、地域に密着した普及活動にめざましい成果を挙げていることも高く評価される。

〔主な活動履歴〕

喜多流大島家所有の能楽堂。1914(大正3)年に大島寿太郎によって福山の新馬場(現・福山市霞町)に創建された大島能舞台を前身に持つ。福山空襲で同舞台は焼失したが、戦後まもない1948(昭和23)年、大島久見により舞台が再建さらに1971(昭和46)年になって現在の能楽堂が新たに建設された。三階建てのビルの中にある能舞台は当時としては珍しく、舞台披きには十五世喜多実・後藤得三らが来演した。1958(昭和33)年に始まった定期公演は、年に4、5回のペースで行われ、2013年12月公演で通算236回を数える。地域の伝説や文芸を素材とした能や小謡の新作など、地元根差した活動にも精力的に取り組んでおり、1917(大正6)年に大島寿太郎が作詞、自らシテを勤めた(鞆浦)、2004年に大島能楽堂で上演された(鞆のむろの木)(作・帆足正規、節付型付・大島政允)などを制作。その他、同能楽堂が関わった企画として、英語能(PAGODA)の制作及び同曲によるヨーロッパ三カ国と北京・香港での海外公演がある。広島・岡山県を中心とする学校現場での能楽教育にも長年にわたって取り組んでおり、年間20校ほどの学校で能楽に関する教育を実施。1914年の大島能舞台の舞台披きから数えて百年目にあたる本年12月には、大島能舞台創建百周年記念能を開催する。現在は、大島政允、大島衣恵、大島輝久が中心となって、様々な演能普及活動を行っている。

「研究・調査活動」

共同利用・共同研究拠点認定

二〇一三年度より文部科学省の定める共同利用・共同研究拠点に認定され、「能楽の国際・学際的研究拠点」としての活動を開始した。国内外の研究者と共同し、豊富な文献資料に基づく実証的研究を進めるとともに、総合芸術としての能楽に対応した多様な視点による新たな研究の創造、国際的研究に向けた方法論の共有を目指している。

能楽研究所が中心となる「テーマ設定型共同研究」は、①能楽研究所所蔵資料に基づく文献学的・国語学的研究、②江戸時代の能楽についての学際的研究、③能楽の演出・技法に関する総合的研究、④国際的視野に基づく新たな方法論構築のための能楽研究という四つの柱を立て、国内外の研究機関・研究者と連携して共同研究を進めている。また「公募型共同研究」では、研究テーマを広く公募し、学外の研究代表者が複数の研究者とチームを組織して研究にあたっている。本年度の主な活動成果は以下のとおり。その他、各チームの研究進捗状況等の詳細は「能楽の国際・学際的研究拠点」のウェブサイトおよび、拠点の活動報告である「Journal」を参照されたい。

●シンポジウム「生誕130年 野上豊一郎の能楽研究を検証する」
10月7日(月) 於：法政大学ポアソナードタワー・スカイ

ホール

I 講演「能楽研究の開拓者 野上豊一郎」

西野春雄(法政大学名誉教授)

II シンポジウム「シテ一人主義」再考

① 報告「野上豊一郎の「戯曲的分析」の方法」

伊海孝充(法政大学文学部准教授)

② 報告「ワキの役割―見物人代表説の展開と継承―」

小田幸子(明治学院大学非常勤講師)

●第十七回法政大学能楽セミナー「近代日本と能楽」

於：法政大学ポアソナードタワー・スカイホール

特別講演 10月21日(月)

「伝統はいかにして生き残ったか」

田中優子(法政大学社会学部教授)

第一回 11月7日(木)

「能舞台に見る明治の能楽―『芝能楽堂』を中心に―」

三浦裕子(武蔵野大学客員教授)

第二回 11月11日(月)

「大正期の能楽―「民衆化」のゆくえ―」

横山太郎(跡見学園女子大学准教授)

第三回 11月14日(木)

「メディアと能楽―レコード・ラジオ・トーキー―」

佐藤和道(名古屋中学校・高等学校教諭)

第四回 11月18日(月)

「満州」における能楽―植民地での演能活動―

中嶋謙昌(灘高等学校教師)

第五回 11月25日(月)

「能と軍国主義―戦時統制下の能楽―」

宮本圭造(法政大学能楽研究所教授)

●イギリスにて能ワークショップと講演を開催

2013年11月、イギリスのロイヤル・ホロウェイ大学、オクスフォード大学と共催で、能の演技に関わる講演とワークショップ等をそれぞれの大学で開催。ワークショップの指導・実演は能楽師のシテ方観世流馬野正基氏と山中逐晶氏にお願いした。

●16ミリフィルムのデジタル化「能楽の国際・学際的研究拠点」のウェブサイトに公開中

1「名家の面影・能楽断片」：戦前に江島伊兵衛氏が撮影した16ミリフィルムの能楽映像のデジタル化。演能を撮影したまとまった映像としては最古の部類に属する貴重な資料である。

2昭和10年宝生流大連演能映像：宝生流能楽師による京城・新京・奉天・大連・青島・上海巡回演能会が行われたうち、大連での演能を撮影した16ミリフィルムを曲目ごとに切り出した。

●メイ・スメサースト氏特別講演会「A case in Which Noh and Greek Tragedy Can Inform Each Other―能とギリ

シア悲劇が互いを照らしあう時―」

12月19日(木)於：法政大学ポアソナードタワー、イノベーションマネージメント研究センター・セミナー室

型付の記述ルール解明のための、文理融合研究

異分野融合による方法的革新をめざした人文・社会学研究推進事業「工学的知見の活用による能楽「型付」の記述ルール及び技芸伝承システムの解明」(平成21～25年度。同右)に基づく文理融合の研究プロジェクトの最終年度。成果は「The Visual Computer」誌に投稿し掲載された。また、拠点のテーマ設定型④「国際的視野に基づく新たな方法論構築のための能楽研究」との共催で、英国ロンドン大学ロイヤルホロウェイ校およびオクスフォード大学にて能のワークショップとシンポジウムを開催。作成した能の舞合成システムの紹介や実際に学生に利用してもらい舞の習得に活用する試み等をおこなった。2月末に最終評価のための書面提出とプレゼンテーションをおこない、A評価を受けた。

金春家旧伝文書の総合的調査

科学研究費補助金(基盤B)「能楽資料学構築に向けた金春家旧伝般若窟文庫の総合的文書調査」(平成22～25年度。研究代表者宮本圭造)に基づく研究プロジェクト。能楽研究所が所蔵する金春家旧伝文書の解題目録作成に向けた総合的調査を行う。研究の最終年度にあたる本年度は、史料を中心に

撮影・デジタル化を進めるとともに、研究の総括として、四年間にわたる調査に基づき、金春家旧伝文書の画像検索が可能なウェブコンテンツの作成に取り組んだ(平成26年度に「金春家旧伝文書デジタルアーカイブ」として公開済)。

若手研究者による能楽研究会

今年度も学内外の若手研究者による研究会を行った。各回の発表者と題目は以下の通り。

第33回 5月16日

肥前島原松平文庫蔵間狂言台本について

川島朋子氏

第34回 6月28日

近松門左衛門の浄瑠璃『主馬判官盛久』と『盛久』—謡曲

〈盛久〉より展開した近世芸能と文学—

岩城賢太郎

第35回 9月26日

能における「乱拍子的なもの」—檜垣蘭拍子を再考する

第36回 11月22日

観世長俊の間狂言—神能を中心に—

横山 太郎

第37回 12月20日

三浦 玲

[Iaga unco Deus]—1591年の『キリスト受難道具問

答』における文法と思想の格闘—

パトリック・シュウエマー

第38回 3月28日

〈野宮〉結末部の演出について

中司由起子

『鴻山文庫蔵能楽資料解題 下』の刊行

長年の懸案であった『鴻山文庫蔵能楽資料解題 下』を、本年ようやく刊行することが出来た。作業が難航したため、中巻の刊行から実に十六年という長い年月を費やしてしまっただことをお詫び申し上げる。なお、上冊・中冊に収めるべきであったのに落としてしまった資料が若干残されており、これについては、鴻山文庫受贈後に能楽研究所が入手した鴻山文庫旧蔵の資料とともに、補遺として刊行を予定している。

「教育・普及活動」

エクステンションカレッジ「新・能楽講座2013」(6月8日〜29日)

2004年度から新シリーズを開始したエクステンションカレッジの能楽講座の第10回。本年度の講座では〈柏崎〉をとりあげた。(4日間4講座)。母子物狂の傑作で、世阿弥の自筆能本が残っている曲でもある。作品の概要を押さえ、物狂全体の位置や、背景となる善光寺の阿弥陀信仰についても学んだ後、実演者のお話も伺った。4日間の内容と講師は次の通りである。

第1回 〈柏崎〉の内容を理解する

中司由起子

第2回 〈柏崎〉と善光寺阿弥陀信仰の周辺

高橋 悠介

第3回 〈柏崎〉の特色を探る

伊海 孝充

第4回 〈柏崎〉の演出やシテの造型について

清水寛二・宮本圭造

シンポジウム「生誕130年 野上豊一郎の能楽研究を検証する」(10月7日)

2013年は、法政大学総長であった野上豊一郎生誕130年にあたる。1952年に野上の功績を記念して設立された能楽研究所では、能の作品を(パーフォーミングアーツ)として捉えようとする野上の研究を検証し、その現代的意義を考える講演会とシンポジウムを開催した。題目については「研究・調査活動」の共同利用・共同研究拠点認定の項を参照されたい。

第十七回法政大学能楽セミナー「近代日本と能楽」(10月21日~11月25日)

前近代の文化の象徴である能楽は、近代日本の中でどう位置づけられていたのか。岩倉具視による能楽再発見、新たなパトロンとしての財閥、能楽における大正デモクラシー、戦時下の能の統制、植民地社会における能の受容、軍国主義に基づく時局能の新作上演など、様々なテーマから近代の能楽史を見直す企画として、「近代日本と能楽」と題するセミナーを開催した。5回にわたる講演の題目と講師については「研究・調査活動」の共同利用・共同研究拠点認定の項を参照されたい。

メイ・スメサースト氏特別講演会「A case in Which Non and Greek Tragedy Can Inform Each Other—能とギリシ

ア悲劇が互いを照らしあう時—」(12月19日)

ピッツバーグ大学古典学科学名譽教授のメイ・スメサースト氏による講演会を法政大学ポアソナードタワー、イノベーションマネージメント研究センター・セミナー室にて開催した。ギリシア悲劇と能の劇(特に現代能の展開法を比較し、そこから能の演劇的特質を探ったもので、スメサースト氏の近著 *Dramatic Action in Greek Tragedy and Non: Reading with and beyond Aristotle* (2014年3月拠点より日本語訳を刊行)を踏まえ、その後の研究成果を含めた発表であった。

【資料の受贈】

岩田裕吉氏より、野上豊一郎博士の遺品として、狂言画・書簡・原稿の追加寄贈を受けた。橋本房子氏より、近世から近代にかけて大阪で活躍した金春流太鼓役者橋本熊三郎の旧蔵資料の寄贈を受けた。橋本はるみ氏より、故橋本朝生氏御遺蔵の『狂言記』全六冊の寄贈を受けた。福岡詩二氏より福岡周斎旧蔵の『喜多流仕舞附』全八冊の寄贈を受けた。御寄贈いただいた岩田裕吉氏・橋本房子氏・橋本はるみ氏・福岡詩二氏のご芳志に対し厚く御礼申し上げます。

【所員の活動】

山中 玲子

『鴻山文庫蔵能楽資料解題 下』(共著)

法政大学能楽研究所 26年3月

- “Easy-To-Use Authoring System for Noh (Japanese Traditional) Dance Animation and its Evaluation” (尾ト真樹・中司由起子・関健司・若月正見と共著)
 『The Visual Computer』29巻10号 25年5月
- 『人生をひもとく 日本の古典』第一(一六)巻
 (久保田淳・佐伯真一・鈴木健一・高田祐彦・鉄野昌弘と共著)
 岩波書店 25年6月11日
- 『世阿弥のことは一〇〇選』(監修) 檜書店 26年1月
 [講演・研究発表等]
- 「能の所作の特徴とよの演出効果」
 於：プリンストン大学 25年10月
- “Expressive Style in Noh: Monologue, Memory and Movement”, Noh Workshop.
 於：オックスフォード大学 25年11月
- “Zeami's Acting Techniques”, Journée d'étude:50 e anniversaire de Zeami.
 於：アルザス・欧州日本学研究所 25年11月
- 能〈西行楼〉〈山姥〉における人と自然の交歓 Re-thinking Nature in Contemporary Japan: from tradition to modernity,
 於：ヴェネツィア大学 26年3月
- 宮本 圭造
 『鴻山文庫蔵能楽資料解題 下』(共著)
 法政大学能楽研究所 26年3月
- 『粟谷家所蔵能面選』(共著) 便利堂 26年3月
 劇評「スーバー能『世阿弥』」『朝日新聞』夕刊 25年4月
 「レンズがとらえた能楽史①―紳士能の時代―」
 『能と狂言』11号 25年5月
 「野上記念法政大学能楽研究所の60年」
 『専門図書館』260号 25年7月
 「伊賀観世系譜」の虚実」 『鏡仙』628号 25年9月
 「謡講釈の世界」 『浸透する教養』(勉誠出版) 25年11月
 「翁はいかなる芸能か」仮面フォーラムⅢ
 『宗教芸能の深層へ 報告集』 26年3月
 「須川・戸隠神社のマトウチ・スモウ」
 『奈良県の民俗芸能』(奈良県教育委員会) 26年3月
 「講演・研究発表等」
 「ヤマの祭りと芸能」播磨学特別講座
 於：兵庫県立大学 25年4月
 「本面と写し―近世初頭の能面史―」観世流研修会
 於：観世能楽堂 25年6月
 「世阿弥 その生涯」世阿弥生誕六百年記念
 於：大槻能楽堂 25年7月
 「江戸初期謡本筆者考」能楽学会例会
 於：法政大学 25年9月
 「謡講―謡がつなぐ人々の輪―」でんおん連続講座
 於：京都市立芸術大学 25年10月
 「能楽は日本固有の芸能か―能楽の起源をめぐる言説の変遷

- 「国際シンポジウム「日本のアイデンティティとアジア」
於：アルザス・ヨーロッパ日本学研究所 25年11月
- 「能と軍国主義」能楽セミナー「近代日本と能楽」
於：法政大学 25年11月
- 「近世大名と能面―江戸時代の能面史―」観世流研修会
於：観世能楽堂 25年12月
- 「能から浄瑠璃へ」コメントイター 能楽フォーラム
於：神戸女子大学古典芸能センター 25年12月
- 「翁はいかなる芸能か」仮面フォーラム「よみがえる翁猿楽」
於：男女共生推進センター研究室 26年1月
- 「行道する仮面たち」コメントイター 仮面フォーラム「行道する仮面たち」於：和歌山県立博物館学習室 26年1月
- 「キリシタン能は存在したか」上智大学国文学会「キリシタン文献研究の新展開」
於：上智大学 26年1月
- 「展示等」
「近代日本と能楽」展示解説
於：法政大学26階展示コーナー 25年10月～11月
- 伝統芸能情報館映像展示用コンテンツ「能鑑賞入門 清経」
監修 26年3月
- 表 きよし
- 「研究十二月往来 世阿弥忌と補殿寺」 「鏡仙」 25年10月
- 「平成二十五年の鏡仙会公開講座」 「鏡仙」 25年12月
- 「講演」
- 「鏡仙会公開講座・能との新たな出会いⅤ」
於：鏡仙会能楽研修所 25年4月～5月
- 「鏡仙会公開講座・能との新たな出会いⅥ」
於：鏡仙会能楽研修所 25年11月～12月
- 「鏡仙会公開講座・能との新たな出会いⅦ」
於：鏡仙会能楽研修所 26年2月～3月
- 「オフィスしみかんシリーズ講座・世阿弥を読む(申楽談儀①)」
於：青山生涯学習館 25年6月～7月
- 「オフィスしみかんシリーズ講座・世阿弥を読む(申楽談儀②)」
於：青山生涯学習館 25年10月～11月
- 「オフィスしみかんシリーズ講座・世阿弥を読む(申楽談儀③)」
於：青山生涯学習館 26年2月
- 「逗子市能狂言公演事前講座 能『石橋』の魅力」
於：逗子文化プラザホール 26年1月
- 「鏡仙会定期公演事前講座」
於：鏡仙会能楽研修所 26年3月
- 小林 健二
- 「絵が物語る日本―ニューヨーク スペンサー・コレクションを訪ねて」(編著) 三弥井書店 平成26年3月
- 「屏風絵に描かれた能―香川県立ミュージアム「源平合戦図屏風」をめぐる―」
能楽学会「能と狂言」11号 平成25年5月
- 「能から物語草子へ―(玉井)と「かみよ物語」絵巻―」

- 〔國學院雑誌〕 114巻11号 平成25年11月
 「物語絵の方法―スベンサー・コレクション蔵『異越物語』
 絵巻をめぐるつて―」
- 〔絵が物語る日本―ニューヨーク スベンサー・コレクション
 ンを訪ねて―〕 三弥井書店 平成26年3月
- 〔在外絵入り本研究の意義と展望〕
 「絵が物語る日本―ニューヨーク スベンサー・コレクション
 ンを訪ねて―」 三弥井書店 平成26年3月
- 〔講演・口頭発表〕
 「国文学における物語絵研究の方法―「松風」絵巻・絵本の
 場合―」 公開シンポジウム「文学と美術の出会い」
 於…大和文華館 平成25年12月
- 〔酒呑童子物語の成立と展開―香取本『大江山絵詞』と能『大
 江山』―〕 ワークショップ 於…コロンビア大学 平成25年11月
- 〔新出、狂言絵画資料の紹介〕 能楽学会10月例会 於…法政大学 平成25年10月
- 石井 倫子
 「世阿弥のことは一〇〇選」(共著) 檜書店 26年1月
 「講演・口頭発表」
 「世阿弥をめぐる和歌・連歌の世界」コメンテーター
 能楽学会第12回大会 世阿弥生誕650年記念シンポジウム
- 於…早稲田大学小野記念講堂 25年5月
 東京アカデミー アカデミア講座「演劇人世阿弥」
 ①天下の許されを得る 於…日本女子大学目白キャンパス 25年4月
 ②冬の時代 於…日本女子大学目白キャンパス 25年5月
 能楽水先案内「今、『風姿花伝』を読む―能の現場から―
 戦略家としての世阿弥」 於…日本女子大学生涯学習センター 25年5月
- 鵜澤久の会事前講座 〈鸚鵡小町〉と〈道成寺〉をよむ 25年12月
 於…国立能楽堂大講義室
 日本女子大学附属中学校能楽鑑賞会事前講座「敦盛」を観る 25年2月
 於…日本女子大学西生田成瀬講堂
 「定家のもたらしたものの継承と変容」コディネーター
 日本女子大学文学部・文学研究科学术交流企画シンポジウム 26年3月
 於…日本女子大学成瀬記念講堂
- 〔解説文・翻訳〕
 「過去への妄執―(鸚鵡小町)と(道成寺)―」 パンフレット 25年12月
 〔鵜澤雅十七回忌追善能 鵜澤久の会〕
- 豊島 正之
 「キリシタンと出版」編著(第35回「2013年度」日本出版
 学会賞「受賞」) 八木書店 25年10月
 「キリシタン版の形」

- 『上智大学国文学論集』47 上智大学国文学会 26年1月
 「序説―キリシタン版の書物史―」
 『キリシタンと出版』八木書店 25年10月
 「日本の印刷史から見たキリシタン版の特徴」
 『キリシタンと出版』八木書店25年10月
 「口頭発表」
 「語学研究のためのデジタルデータの取り扱いについて」
 上智大学国文学会平成25年度夏季大会 於…上智大学 25年7月
 「キリシタン版の綴字」 上智大学国文学会平成25年度冬季大会 於…上智大学 26年1月
- 伊海 孝充
 『日本人のこころと言葉 世阿弥』（西野春雄と共著） 創元社 25年10月
 「明窓浄机」 『金春月報』25年4月～26年3月
 「口頭発表」
 「玉屋謡本考―古活字本と製版本との関係をめぐって―」
 能楽学会例会 於…政法大学 25年10月
 「野上豊一郎の「戯曲的」分析の方法」 於…政法大学 25年10月
 「シテ一人主義再考」 於…政法大学 25年10月
 「生誕130年野上豊一郎の能楽研究を検証する」シンポジウム
 「長刀を持つ巴像の意味―『平家物語』諸本との比較から―」
 「文化現象としての源平盛衰記」研究 公開研究集会「芸
- 能が描く女武者―巴の造型をめぐって」 於…國學院大學 25年10月
- 江口 文恵
 「観世文庫の文書55『観世織部宛藤本筑後守書状』」 『観世』80巻10号 25年10月
 「『葛巻昌興日記』所引能楽記事稿（天和二年・三年分）」（共著） 『演劇研究』37号 26年3月
 「研究展望（平成22年 単行本）」 『能楽研究』38号 26年3月
- 中司 由起子
 「鴻山文庫蔵能楽資料解題 下」（共著） 政法大学能楽研究所 26年3月
 「国立能楽堂公演番組解説」 『国立能楽堂』25年4月～26年3月
 「金春会定期能番組解説」 『金春会定期能番組解説』25年4月～26年3月
 「小段ってなに？」小段の構成《花筐》①②・索引 『観世』80巻6号、7号 25年6月、7月
 「初代梅若実筆『芸事上数々其他秘書当座扣并ニ略見出しノ事』解題及び見出し索引、人名・曲名等索引」（研究会メンバーと共著） 『武蔵野大学能楽資料センター紀要』25号 26年3月
 『Easy-To-Use Authoring System for Noh (Japanese Tradi-

tonal) Dance Animation and its Evaluation” (尾下真樹・

中司由起子・関健司・岩月正見と共著)

『The Visual Computer』29巻10号 25年5月

〔口頭発表〕

〔能における所作とテキストの関係―能(葵上)を例として―〕

Association for Japanese Literary Studies 大会

於：シカゴ大学 25年10月

〔講座等〕

〔伝芸芸能シリーズ 能への誘い〕首都大学東京オープンユ

ニバーシティ

於：首都大学東京 26年2月、3月

高橋 悠介

〔禅竹能楽論の世界〕

慶應義塾大学出版会 26年3月

〔弁暁の説草と東大寺大仏再建〕

特別展図録『東大寺―鎌倉再建と華嚴興隆』 25年10月

〔称名寺聖教 尊勝院弁暁説草―翻刻と解題〕神奈川県立金

沢文庫編 (共著) 勉誠出版 25年10月

特別展図録『中世密教と(玉体安穩)の祈り』(共著)

神奈川県立金沢文庫 26年2月

〔講座〕

称名寺新能協力講座「武州金沢ゆかりの能―六浦・放下僧・

金沢狸々」

神奈川県立金沢文庫 25年4月

観世会荒磯能事前講座「(歌占)・(葵上)」

観世能楽堂 25年5月

観世会荒磯能事前講座「(放下僧)・(雷電)」

観世能楽堂 25年7月

〔蔵書の出品・掲載〕

①デアゴステイーニ・ジャパン社発行の週刊『日本の100

人』第90号/岩倉具視号(2007年発行)の再販につき

『金春札』の画像再掲を許可した。(2013年9月再販)

②三井記念美術館・金沢能楽美術館で開催の特別展「川鍋暁

斎の能・狂言画」図録、および西野春雄氏論文「川鍋暁斎

の能画・狂言画」の挿図として『二曲三休人形図』より

「力動風」図の掲載を許可した。(2013年4月発行)

③藝能史研究会創立50周年記念大会(会場：同志社女子大

学)においてDVD『名家の面影』の上映を許可した。(上

映日：2013年6月8日)

④NHK中高生向け教育番組「10th. ボックス国語/古文・

漢文」『狂言』(2007年制作)の再放送(2013年6

月28日)、および番組ホームページに、「天正狂言本」の映

像再使用を許可した。

⑤塙書房発行、塙選書「江戸町人の生活空間―都市民の成

長」戸沢行夫著に「弘化勸進能絵巻」より「棧敷畳場入込

場群衆図」の掲載を許可した。(2013年9月刊行)

⑥石川県立美術館で開催された「俵屋宗達と琳派」展の図録、

広報関係印刷物、ホームページ掲載のために「光悦謡本

- (上製本)〈俊寛〉」ほか計4点、「同(特製本)〈女郎花〉」ほか4点、「同(袋綴別製普通本)〈柏崎〉」のカラーポジフィルム計2枚の貸出を許可した。(2013年6月4日)〔9月20日〕
- ⑦京都造形芸術大学通信教育部、「芸術史講義(上級篇)」のテキスト(書籍)『日本の芸術史 上演篇Ⅰ』、及び電子テキスト「芸能史講義(上級篇)」に「細川十部伝書(世子六十以後申楽談儀)」の画像掲載を許可した。(2014年3月刊行)
- ⑧論説資料保存会発行の『日本語学論説資料』48号に、神戸女子大学大学院の松居郁子氏が『神女大國文』22号に掲載した論文「下掛り謡本における大夫系節付の特徴」を転載するため、同論文中に使用した「金春禅鳳自筆本(吉野静)」の図版再使用を許可した。(2014年4月発行)
- ⑨四谷図書館特設コーナーで開催の「Japan Beauty 日本の美—伝統芸能に触れよう—図書・パネル展示「能『井筒』をさぐる」に陳列展示をするため、『元禄10年刊 謡本井筒の冊』ほか計3点の貸出、および『二曲三休人形図』「女体」ほか4点の画像使用を許可した。(会期…2013年8月27日～9月29日)
- ⑩石川県立美術館で開催された「俵屋宗達と琳派」展に、「光悦謡本(上製本)〈俊寛〉・〈千手重衡〉・〈殺生石〉」、「光悦謡本(特製本)〈女郎花〉・〈清経〉」、「光悦謡本(袋綴別製普通本)〈柏崎〉」の貸出を許可した。(会期…2013年9月14日～10月14日)
- ⑪五島美術館で開催された特別展「光悦—桃山の古典—」の展示のため「光悦謡本(色替り異装本)〈大原御幸〉」、「光悦謡本(色替り本)〈海士〉」2点の出品、ならびに図録、広報関係印刷物作成、ホームページ掲載のために同画像データ6点の掲載、使用を許可した。(会期…2013年10月26日～12月1日)
- ⑫高槻市しろあと歴史館で開催された特別展「—発掘 戦国武将伝—高山右近の生涯」の図録掲載のために観世新九郎家文庫蔵「九月廿六日付、辻玄照あて高助左書状」の画像使用を許可した。(2013年10月刊行)
- ⑬水見春秋会発行の『水見春秋』68、69号の「謡曲(藤)小考」(胡桃正則氏著)に「貞享元年十月筆写『柳桐本』(藤)」の掲載を許可した。
- ⑭檀國大學校教養基礎教育院より、天野文雄氏著「現代能楽講義」の韓国語翻訳本が出版されるため、本書に記載されている「弘化勸進能図」ほか計6点の転載を許可した。
- ⑮中村静子氏の博士論文「元伯宗旦の研究」が思文閣出版より刊行されるため、論文に掲載の『四座役者目録』の画像再使用を許可した。(2014年7月刊行)
- ⑯NHK Eテレ「100分de名著」の番組テキスト2014年1月号「風姿花伝」に『二曲三休人形図』より「天女舞」、「弘化勸進能絵巻」より「舞台・橋掛之図」の掲載を許可した。(2013年12月発行)

- ⑰法政大学資格過程実習準備室により開催された企画展「野上豊一郎と弥生子展」に、野上夫妻旧蔵の『車屋謡本』他計42点の貸出を許可した。(会期…2013年11月7日～2014年1月22日)
- ⑱京都観世会館が発行する『能』2014年3月号掲載の西野春雄氏の随筆に『二曲三体人形図』より「天女舞」の画像使用を許可した。
- ⑲慶應義塾出版会発行の高橋悠介著『禅竹能楽論の世界』に『明宿集』より5点の画像掲載を許可した。(2014年3月刊行)
- ⑳公益財団法人三徳庵発行の『茶道の研究』2014年2月号「和・漢の文化探訪」の頁に『二曲三体人形図』より「天女舞」の画像使用を許可した。
- ㉑檜書店発行『観世』2014年2月号に掲載の横山太郎氏の論文「世阿弥時代の舞の身体」に『二曲三体人形図』より「女舞」、「天女舞」の画像使用を許可した。
- ㉒愛知県史編さん室発行の『愛知県史 資料編21 近世7領主1』に般若窟文庫蔵金春家文書計9点の掲載を許可した。(2014年4月刊行)
- ㉓NHK Eテレ『100分de名著』の「風姿花伝」をテーマとする番組中に「弘化勸進能」より「豊場入込場之図」ほか計2点の画像放送及びオンデマンド配信を許可した。(2014年1月22日、29日放送)
- ㉔檜書店発行『観世』2014年4月号に掲載の渡辺保氏の

論文「世阿弥の演劇論」に『二曲三体人形図』より「老体」の画像使用を許可した。

- ㉕教育芸術社発行の『中学の音楽2・3下』(中学3年生用音楽検定教科書)、および同内容の指導書などに『寺子屋小謡図』の掲載を許可した。(28年度より4年間使用)

「雑報」

◇星野勉氏が兼任所員に就任

星野勉氏(文学部教授)が2013年4月1日付で兼任所員に就任した。

◇豊島正之氏が兼任所員に就任

豊島正之氏(上智大学文学部教授)が2013年10月1日付で兼任所員に就任した。

◇坂本勝氏が兼任所員・運営委員を退任

坂本勝氏(文学部教授)が2014年3月31日付で兼任所員および運営委員を退任した。

◇拠点運営委員の委嘱

野上記念法政大学能楽研究所共同利用・共同研究拠点運営委員会規程に基づき、次の12名に拠点運営委員会委員を委嘱した。(任期…2013年6月26日～2015年3月31日)

委員	国際学術支援本部担当常務理事	福田 好朗
委員	能楽研究所所長	宮本 圭造
委員	能楽研究所専任所員	山中 玲子
委員	文学部教授	小秋元 段

委員 国際文化学部教授
委員 理工学部教授
委員 山口県立大学教授

委員 神戸女子大学教授
委員 観世流シテ方能楽師
委員 国際医療福祉大学教授

委員 早稲田大学教授
委員 佐藤 禎一
委員 竹本 幹夫

委員 明治学院大学教授
マイケル・ワトソン

◇拠点公募型共同研究課題専門委員の委嘱
野上記念法政大学能楽研究所共同利用・共同研究拠点公募型共同研究課題専門委員会規程に基づき、次の7名に専門委員を委嘱した。(任期…2013年8月1日～2015年3月31日)

委員 能楽研究所所長 宮本 圭造
委員 能楽研究所専任所員 山中 玲子
委員 国際文化学部教授 竹内 晶子
委員 観世流シテ方能楽師 観世 喜正
委員 国文学研究資料館教授 小林 健二
委員 金沢大学教授 西村 聡
委員 東京都文化財研究所無形文化財研究室長 高桑 いづみ

◇客員研究員の受入

共同利用・共同研究拠点(能楽の国際・学際的研究拠点)公募型共同研究課題採択者および研究分担者として、規程に基づ

き次の三氏に客員研究員を委嘱した。(任期…2013年10月1日～2014年3月31日)

坂本清恵(日本女子大学文学部教授)
高桑いづみ(東京都文化財研究所無形文化遺産部無形文化財研究室長)

パトリック・シュウエマー(プリンストン大学大学院比較文学科・博士課程後期)

◇国内研修員の受入
京都女子大学文学部准教授の川島朋子氏を国内研修員として受け入れた。(受入期間…2013年4月1日～2014年3月31日)氏の研究課題は「間狂言の研究―台本調査を中心に―」

◇外国人客員研究員の受入

外国人客員研究員としてレジナルド・ジャクソン氏(米国シカゴ大学東アジア言語・文明学部准教授)を受け入れた。(受入期間…2013年10月1日～2014年9月30日)氏の研究課題は「能の所作を記録するメディアの発達と、その技術誇示に利用された「能」の文化的価値」

また、マシュー・トマス・チャドノー氏(米国カリフォルニア大学アーバイン校大学院東アジア言語・文学部博士課程)を受け入れた。(受入期間…2013年9月1日～2014年8月31日)氏の研究課題は「金春禅竹が書いた謡曲における女人成仏の問題と15世紀の日本の政治的緊張」
◇研究補助員(共同利用・共同研究拠点関係)の採用

2013年度より文部科学省の定める共同利用・共同研究拠点に認定されたことにより、2013年7月1日付で拠点の研究活動の遂行にあたるための研究補助者として、能楽研究所兼任所員の中司由起子氏を、またリサーチアシスタントとして人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程に在籍する深沢希望氏を採用した。

◇派遣職員(共同利用・共同研究拠点関係)の採用

共同利用・共同研究拠点到認定されたことに伴い、専任で事務を担当する桑原理恵氏(2013年8月1日)と2014年1月31日)、松浦奈緒氏(2014年2月17日)と4月30日)を採用した。

◇臨時職員(夜間閲覧業務)の採用

2012年度で周重雷氏が退職し、後任に2013年4月1日付で藤井月菜氏を採用した。藤井氏は火曜日、2009年度に採用した東條沙織氏が、引き続き木曜日に勤務することとなった。

[2013年度の所員名と関連委員名]

◎所員

所長・専任所員	教授	宮本	圭造
専任所員	教授	山中	玲子
兼任所員	文学部教授	星野	勉
兼任所員	文学部教授	坂本	勝
兼任所員	文学部教授	小秋元	段

◎運営委員

議長	所長	宮本	圭造
委員	専任所員	山中	玲子
委員	兼任所員	星野	勉
委員	兼任所員	坂本	勝
委員	兼任所員	小秋元	段
委員	兼任所員	ステイヴン・ネルソン	

兼任所員	文学部教授	ステイヴン・ネルソン
兼任所員	文学部准教授	伊海 孝充
兼任所員	国際文化学部教授	鈴木 靖
兼任所員	国際文化学部教授	竹内 晶子
兼任所員	デザイン工学部教授	岩月 正見
兼任所員	国士館大学教授	表 きよし
兼任所員	国文学研究資料館教授	小林 健二
兼任所員	日本女子大学教授	石井 倫子
兼任所員	上智大学教授	豊島 正之
兼任所員	神奈川県立金沢文庫	高橋 悠介
兼任所員		中司由起子
兼任所員		江口 文恵
兼任所員		渡部 英司
兼任所員		岩佐 容子
兼任所員		桑原 理恵
兼任所員		松浦 奈緒

委員 兼担所員
委員 兼担所員
委員 兼担所員
委員 兼担所員

伊海 孝充
鈴木 靖
竹内 晶子
岩月 正見

委員 日本女子大学教授
委員 法政大学名誉教授
委員 観世流シテ方能楽師
委員 能楽研究所所長
委員 能楽研究所専任所員

みなもと ごろう
西野 春雄
観世鏡之丞
宮本 圭造
山中 玲子

◎法政大学能楽振興基金委員

委員長 国際学術支援本部担当常務理事
委員 法人本部担当常務理事
委員 武蔵野大学名誉教授
委員 写真家
委員 法政大学名誉教授
委員 能楽研究所所長
委員 能楽研究所専任所員

福田 好朗
徳安 彰
小林 責
服部 冬樹
西野 春雄
宮本 圭造
山中 玲子

☆単行本〔受人順。*印は寄贈者。書名・著者・発行年・発行者の順。著者および編者が発行している場合は、発行者は省略。〕

◎法政大学能楽賞委員

委員長 国際学術支援本部担当常務理事
委員 法人本部担当常務理事
委員 能楽研究所所長
委員 能楽研究所専任所員

福田 好朗
徳安 彰
宮本 圭造
山中 玲子

『THEATRE YEARBOOK 2013 Theatre in Japan』
*国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター編 平25
『THEATRE YEARBOOK 2013 Theatre Abroad 諸外国の演劇事情』*国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター編 平25
『新発田「謡曲」のあゆみ』 *澁谷嘉之編 平24
『アメリカに渡った物語絵 絵巻・屏風・絵本』 *国文学研究資料館編 平25

◎法政大学能楽賞選考委員

委員長 国際学術支援本部担当常務理事
委員 法人本部担当常務理事
委員 能楽評論家

福田 好朗
徳安 彰
松本 雍

『大学文化資源の情報発信』 *早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 平25
『Japanese Visual Culture Performance, Media and Text』 *国文学研究資料館編 平25
『能楽研究37号』 *法政大学能楽研究所編 平25
『日本美術全集 江戸時代Ⅱ 宗達・光琳と桂離宮』

- 安村敏信編 平25 * 小学館
- 〔特別展「河鍋曉斎の能・狂言画」〕
- 三井文庫三井記念美術館編 平25 * 河鍋曉斎記念美術館
- 〔日本のアイデンティティを(表徴)するもの 2011年アルザス・シンポジウム報告 国際日本学研究叢書17〕 法政大学国際日本学研究所編 平25
- * 法政大学国際日本学研究センター
- 〔The Guide to Noh of the National Noh Theatre 2 Play Summaries of the Traditional Repertory (H-Ki)〕
- Richard Emmert 著 平25 * 国立能楽堂
- 〔論集 代官頭 大久保長安の研究〕 平25 * 村上直著 播藍社
- 〔Dramatic Action in Greek Tragedy and Noh, Reading with and beyond Aristotle〕
- * Mae J Smeturst 著 平25 Lexington Books
- 〔海を渡った富山藩の能面〕 * 胡桃正則著 平22 桂書房
- 〔横道萬里雄の能楽講義ノート(謡編)〕 〔横道萬里雄の能楽講義ノート出版委員会〕編 平25 * 檜書店
- 〔柳川市史料編Ⅱ 荘園 * 三猪荘・瀬高荘 * 田中吉政・忠政関係資料〕 柳川市史編集委員会編 平25 * 柳川市
- 〔柳川文化資料集成第3集—3 柳川の美術Ⅲ〕
- 柳川市史編集委員会編 平25 * 柳川市
- 〔野上彌生子 — 時代を見つめ書き続けた100年の生涯—〕
- * 大分県立先哲資料館編 平24 * 大分県教育委員会
- [SLOVENSKÉ DIVADLO (The Slovak Theatre) Vol.6] 平25
- * 山中玲子
- 〔国立能楽堂開場三十周年記念特別展示「能を彩る文化財名品能面能装束展 図録」〕
- * 国立能楽堂編 平25 日本芸術文化振興会
- 〔週刊日本の100人 No.90 岩倉具視〕
- デアゴスティーニ ジャパン編 平25 * 十象舎
- 〔図録 俵屋宗達と琳派〕 * 石川県立美術館編 平25
- 〔日本人のこころの言葉 世阿弥〕 * 西野春雄・伊海孝充著 平25 創元社
- 〔高山右近の生涯 — 発掘 戦国武将伝—〕
- * 高槻市立しろあと歴史館著 平25
- 〔今日は一日、方丈記〕
- 磯水絵編 平25 新典社 * 岩崎雅彦
- 〔キリシタンと出版〕 * 豊島正之編 平25 八木書房
- 〔江戸町人の生活空間〕 戸沢行夫著 平25 * 塙書房
- 〔図録 光悦 — 桃山の古典—〕 * 五島美術館編 平25
- 〔特別展 東大寺 鎌倉再建と華嚴興隆〕
- 神奈川県立金沢文庫編 平25 * 高橋悠介
- 〔特別展 瀬戸神社と海の守護神—〕
- 神奈川県立金沢文庫編 平25 * 高橋悠介
- 〔中世文華論集 第二卷 謡と能の世界(下)〕
- 伊藤正義著 平25 和泉書院 * 伊藤百合子
- 〔謡曲(能)文学論考〕 * 松田存著 平25 進典社
- 〔世阿弥のこころば100選〕 山中玲子監修 平25 * 檜書店

111 能楽研究所彙報

『禅竹能楽論の世界』

*高橋悠介著 平26 慶應義塾大学出版会

『南部藩の能楽』 *青柳有利子 平26 早稲田大学出版部

『永青文庫所蔵資料調査報告書 第2集 能面と能道具』

*熊本県立美術館編 平26

☆雑誌・紀要など〔特記した以外は発行所からの寄贈誌名・

号数・発行年・発行所の順〕

〔雑誌など〕

葵 徳川美術館日より No.86～89(平25)

岩瀬文庫日より No.37～40(平25・26) 西尾市岩瀬文庫

おもて 117～120号(平25・26) 大槻能楽堂 檜書店

観世 80巻4号～81巻3号(平25・26) 観世九阜会

観世九阜会定例会 5月～4月(平25・26) 喜多流職分会

喜多流職分会自主公演能 6月～5月(平25・26) 喜多流職分会

喜多流青年能 第34回・35回 喜多流職分会

橘香 58巻1号～12号(平25) 梅若研能会

汲古 63・64号(平25) 汲古書院 京都能楽会

京都新能64回(平25) 京都能楽会

藝能 19号(平25) 藝能学会

KENSYO vol.89～92(平25・26) セクターエイテイイト

国文研ニュース No.31～34(平25・26) 国文学研究資料館

調査研究報告 33号・別冊(平25) 国文学研究資料館

国立能楽堂356～366号(平25・26) 日本芸術文化振興会

国立能楽堂調査研究 vol.7(平25) 日本芸術文化振興会

金剛の能 第2回～第1回(平25・26) 東京金剛会

金春月報 34巻4号～35巻3号(平25・26) 金春月報編集部

囀り 94～96号(平25・26) 近松応援団

サントリー美術館ニュース 245～249号(平25・26)

サントリー美術館

紫明 31・32号(平25) 紫明の会

序破急 16号(平25) 大阪能楽養成会後援会

せんだい市史通信 30～31号(平25)

仙台市博物館市史編さん室

地方史情報 114～118(平25・26) 岩田書院

鎮仙 624号～634号(平25・26) 鎮仙会

名古屋芸能文化 23号(平26) 名古屋芸能文化会

日本研究 47・48集(平25) 国際日本文化研究センター

能 660号～670号(平25・26) 京都観世会

能楽タイムズ 733～745号(平25・26) 能楽書林

能楽の友 556～566号(平25・26) 能楽の友社

能楽連盟報 95・96号(平25) 新潟県能楽連盟

能スケジュール 600～605号(平25) 観世会

能と狂言 11号(平25) 能楽学会

橋がかり 5月～4月(平25・26) 横浜能楽堂

書陵部紀要 64号(陵墓編)(平25) 宮内庁書陵部

無形文化遺産研究報告 7号(平25) 東京文化財研究所

廣田鑑賞会能 20回(平25) 廣田鑑賞会

- 大和座通信 117・118号(平25・26) 大和座狂言事務所
 鏡仙会予定番組 2014年(平25) 鏡仙会
 能楽(金沢能楽美術館だより) 3号(平25) 金沢能楽美術館
 無形文化遺産研究報告 2013年度概要(平25) 東京文化財研究所
 柳川古文書館史料目録 第23集(平25) 柳川古文書館
 柳川古文書館年報 平成24年度(平25) 柳川古文書館
 大分県立先哲史料館研究紀要 17号 柳川古文書館
 (平25)大分県立先哲史料館
 秋季企画展『江戸への旅―年貢米と上乗人―上乗人が記録した100日を超える旅』(平25) 大分県立先哲史料館
 ITI紛争地域から生まれた演劇 その4(平25) 国際演劇協会日本センター
 花伝 夏号(平25) 序破急出版
 久米邦武と能楽展(岩倉具視の能楽再興を支えた人物) (平25) 久米美術館
 五島美術館の50年(1960～2010)(平25) 五島美術館
 五島美術館研究紀要(2012年度)(平25) 五島美術館
 特別展「関西学院の美術家―知られざる神戸モダンズ―」(平25) 神戸市立小磯記念美術館
- 〈大学紀要〉
 愛知淑徳大学国語国文 37号(平26) 愛知淑徳大学国文学会
- 青山語文43号(平25) 青山学院大学日本文学会
 文学史研究53号(平25) 大阪府立大学国語国文学研究室文学史研究会
 語文100・101輯(平25) 大阪大学国語国文学会
 待兼山論叢 47号(平25) 大阪大学大学院文学研究科
 演劇学論叢 13号(平25) 大阪大学大学院文学研究科演劇学研究室
 Arts and Media Vol.3(平25)大阪大学大学院文学研究科
 文化動態論専攻 アート・メディア論研究室
 上方文化研究センター研究年報 14号(平25) 大阪府立大学上方文化研究センター
 百舌鳥国文 24号(平25)大阪府立大学日本語文化学会
 言語文化学研究会 日本語日本文学編 8号(平25) 大阪府立大学人間社会学部言語文化学科
 文藝論叢 80・81号(平25) 大谷大学文藝學會
 岡大国文論稿 41号(平25)岡山大学文学部言語国語国文学会
 国語国文学会誌 57号(平26) 学習院大学国語国文学会
 金沢大学国語国文 38号(平25) 金沢大学国語国文学会
 国文学 98号(平26) 関西大学国文学会
 女子大國文 152号(平25) 京都女子大学国文学会
 研究紀要 39・40号(平25・26) 京都橘大学
 研究紀要文学部篇 No.2(平25) 神戸松蔭女子学院大学
 學術研究会 國學院大學國文學會
 日本文學論究 73冊(平26)

- 駒澤國文 50号(平25) 駒澤大学文学部国文学研究室
 実践国文学 84・85号(平25・26) 実践国文学会
 実践女子大学文学部紀要 55集(平25) 実践女子大学
 実践女子大学文芸資料研究所年報 32号(平25) 実践女子大学文芸資料研究所
 人文学報 47号(平25) 首都大学東京人文学部研究科
 国文学科紀要 31号(平25) 上智大学国文学科
 国文学論集 47号(平25) 上智大学国文学会
 日本文学紀要学苑 87号(平26) 昭和女子大学近代文化研究所
 成蹊國文 46号(平25) 成蹊大学文学部日本文学科
 近松研究所紀要 24号(平25) 園田学園女子大学近松研究所
 中央大学国文 57号(平26) 中央大学国文学会
 東海大学 日本語・日本文学 3号(平25) 東海大学 研究と注釈の会
 湘南文学 47号(平25) 東海大学 日本文学会
 富士論叢 58号巻1号(平25) 東京富士大学学術研究会
 同志社国文学 79号(平25) 同志社大学国文学会
 文学論藻 88号(平26) 東洋大学文学部日本文学文化学科
 比較文化研究所年報 29号(平25)
 文学論叢 30号(平25) 徳島文理大学比較文化研究所年報編集委員会
 二松 27集(平25) 徳島文理大学文学論叢編集委員会
 二松學舎大学論集 56号(平25) 二松學舎大学大学院文学研究科
 国文目白 53号(平26) 二松學舎大学文学部
 日本女子大学国語国文学会
 文学部論集 98号(平26) 佛教大学文学部
 仏教学部論集 98号(平26) 佛教大学仏教学部
 歴史学部論集 4号(平26) 佛教大学歴史学部
 文教大学国文 42号(平25) 文教大学国文学会
 別府大学国語国文学 54号(平24) 別府大学国語国文学会
 日本文学誌要 87・88・89号(平25・26)
 法政大学史資料集 34集(平25) 法政大学国語国文学会
 法政史学 80号(平25) 法政大学史学会
 大学院紀要 71号(平25) 法政大学大学院
 研究と評論 No.78(平25) 法政大学第二中・高等学校
 国語国文研究 143・144号(平25) 北海道大学国語国文学会
 日本文学ノート48号(平25) 宮城学院女子大学日本文学会
 能楽資料センター紀要 No.24(平25) 武蔵野大学能楽資料センター
 言語文化 30号(平25) 明治学院大学言語文化研究所
 日本文学 110・111号(平25・26) 立教大学日本文学会
 國文學論叢 59輯(平26) 龍谷大學國文學會
 演劇映像 54号(平25) 早稲田大学演劇映像学会
 演劇研究 36・37号(平25・26) 早稲田大学演劇博物館
 演劇映像学 2013(平26) 早稲田大学演劇博物館
 演劇博物館 Vol.108～110(平25・26) 早稲田大学演劇博物館
 News Letter No.3・4(平25・26) 早稲田大学演劇博物館
 「卓越した大学院拠点形成支援補助金」

- 国文学研究 169～171集(平25) 早稲田大学国文学会
国文論叢 12号(平25) 京都女子大学大学院文学研究科
神戸女子大学古典芸能研究センター紀要 7号(平25)
神戸女子大学古典芸能研究センター
二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊 43集(平25)
二松学舎大学東アジア学術総合研究所
法政史学 79号(平25) 法政大学史学会
法政大学国際日本学研究所研究成果集 10号(平25)
法政大学国際日本学研究所
アートリサーチ Vol.13・14(平25・26) 立命館大学
アートリサーチセンター
東西南北 和光大学総合文化研究所年報 2013
(平25)和光大学総合文化研究所